

秋季永代経法要

安順寺に集う皆様、ご無沙汰しています。

9月に再び皆さまとお会いできることを楽しみにしています。

今回は皆さまと共に、「死」の問題を一緒に考えてみたいと思います。「死」そのものは、誰にでも平等に訪れるのですが、自分の死は誰にとっても経験の外にあるできごとです。「先週ちょっと死んでみたときのことだけど」などという形で経験できないということです。「死」は特別のできごととして、他者からの評価に晒されるほかないことです。死んだ後のことは自分ではわかりません。

このため、立派な死だとか、惨めな死だとかの「評価」が、必ずいつかは死ぬと決まっている自分の「気がかり」となります。このような気がかりについて、「ただ念仏」の真宗仏教はどのように考えているのか、靖国の「名誉の戦死」などの考え方と比べながら考えてみようと思います。

上記の文章は菱木先生からのメッセージです。

皆様方の参詣を心よりお待ちしております。

期 日 2010年9月26日（日）
時 間 午 前 10時～12時（おときは準備します）
午 後 1時30分～3時30分
講 師 菱木 政晴 師（同朋大学特任教授）
会 場 安 順 寺

講師プロフィール

菱木政晴（ひしき まさはる）

1950年金沢市生まれ。

京都大学文学部宗教学専攻。

同大学院博士課程単位取得退学。

現在は同朋大学特任教授。

著書には『浄土真宗の戦争責任』『解放の宗教へ』

『ただ念仏して—親鸞・法然からのほげまし』など多数



真宗大谷派

安 順 寺

名古屋市昭和区鶴舞4-15-20

052-731-8785